



メイドさんの胸がすごかった。



彼女の名前は、
ミスズさん。
わけあって
同棲している、
メイドさんだ。

あら♡
○○様♡
おはよう
ございます♡

あの…
その…
えっ？
どうかした？

○○様…
パンツを
履いてく
ださい…

僕はミスズさんの
反応が面白いので
パンツをあまり
履かなかった。

ミスズ

〇〇さまは、
裸を見られる
のが好きな
のですか？

裸を
ミスズさんに
見られると
気持ち良
くなるんだ！

ああ…。
〇〇さまは、
原始人さん
ですか…？

ちゃんと
パンツ
履いてく
ださい…。

ミスズさんの
パンツなら
履きたい！

えっ？
それなら
差し上げ
ますから…。
ちゃんと履いて
くださいね？

やった！
ミスズさんの
パンツ
だぜ！

AA

ミスズさんの
パンツを履く
ようになると、
徐々に全裸が
恥ずかしく
感じるように
なってしまうた。

そうして
年月が過ぎる。

僕はミスズさん
のパンツを履く
ことにより、
原始人からどう
にか、パンツが
履ける原始人
なれた。



しかし陰部が
隠されることに
より新たな
病が発症した。

そう。恋の病。

パンツで回り
始める恋の歯車。

ああ…。なぜ
ミスズさんが
こんなにも可愛く、
綺麗で何処か
エッチに見えて
しまうのだろう…。





うわあ！

あら♡
○○さま♡
おはよう♡
ごぞいます♡

胸でかあ！

どうかなされ
ましたか？
そんな顔を
されて？

その…
ミスズさん…
前は、もう
少し痩せて
なかった？

もう…。
何を言っ
ているの
ですか…。

そのような
可能性が
ないわけ
ではありませんが…。

そもそも誰だっ
て成長すれば体重が
増えるのが当たり
前です。変な
こと聞かないで
くださいよ！。

ああ…はい…。

言い訳する
ミスズさん
カワイイ…。

大きすぎる
胸が気に
ならなく
なるぐらい
カワイイ…。

ミスズさんの
こともっと
知りたい…。

不
ッッッ
ッッッ



そして

よお!!
大丈夫?
おっぱい
揉む?

えっ...
お前...何
言ってるの?

彼の名前は
エミリーザ。
俺の友人だ。

女の子を
知りたい
○○に
いい物を
仕入れたぜ...

なっ...
なんだと...?

エロ漫画
の現物。
しかも爆乳
メイドもの!

マジかよ...!
それスゲーな...

でもこれを
隠れて読んだら、
ミスズさんに
後ろめたい
気持ちになるな。
どうしよう...

そして

うわあ！
何堂々と、
目の前で
エロ本読んで
るんですか！

その…。
隠れて読むのは、
やましいと
思ってたね…。

いきなりよい
ですね…。

凄い度胸です。
ステキ…。

それと、
ミスズさんに
見られながら
エロ本読む方が、
興奮すると思
ったから。

そこまで
言うなんて…。
私も信頼されて
いるのですね。

もう…♡
○○さんったら♡
私がエロ漫画の
女の子に嫉妬
すると思っ
たのですか？

えっ？

私を嫉妬させたい
ということは、
○○さまは、
私のことが
大好きなのですね♡

オイオイオイ

私も以前、
試しに
○○さまの
パンツを履
いてみたら、

興奮してしま
って、それか
らというもの、
○○さまのこ
とを考えると
胸が膨らむ
思いです♡

オイオイオイ

私も服の中身は
エッチな女の子
でございますよ♡

オイオイオイ

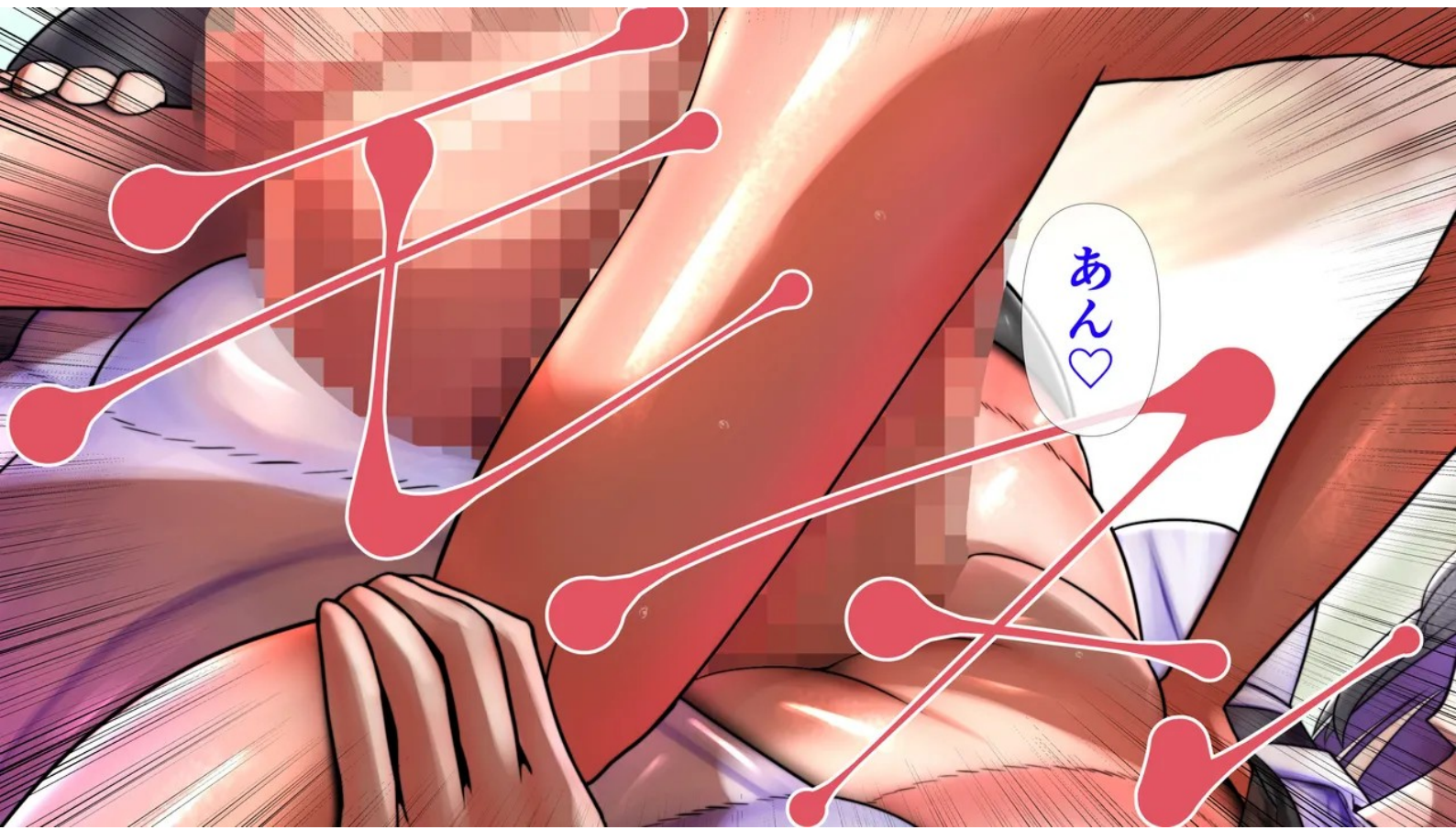
そんなに硬く
なされて♡



続きは♡

♡♡♡♡♡

こちらでいいですか？



あん♡



フフ♡
○○さまも
随分遅しく
なられた
ようで♡

えっ?
美少女メイド
ミスズさん
最高?

おっばい
気持ちいい
ですか?

あらあら♡



ん♡
出ております♡

気持ちよかつたのですね♡
私も○○さまに喜んで頂けてうれしいです♡



〇〇さまが、
おっぱいに
挟まれると、
いつもより
小さく見え
ます♡

ふふ♡
かわいい♡

すごい
汁の量♡
おっぱい
大好きな
ので♡



あん♡

乳首気持ちいいです♡

あーん♡ あーん♡ あーん♡

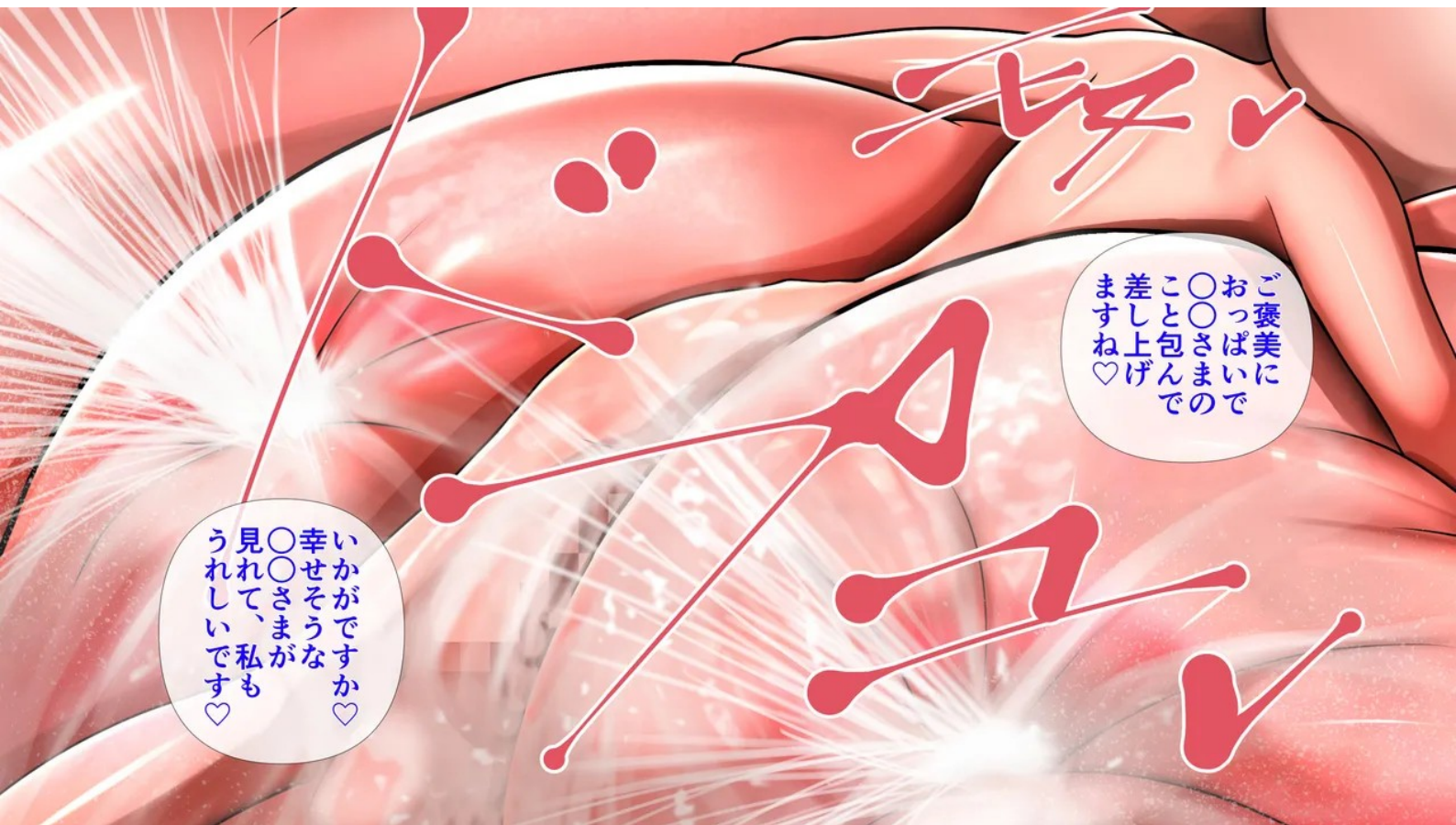


ん♡
イク♡

そういう
ことは、
お手なん
ですから♡

○○さまっ
たら♡

お恥ずかし
ながら、
とっても
興奮してし
まいます♡



ご褒美に
おっばいで
○○さまの
こと包んで
差し上げ
ますね♡

いかがですか♡
幸せそうな
○○さまが
見れて、私も
うれしいです♡



えっ?
大好きな
ミスズさんと、
エッチも
したい?

あらあら
仕方あり
ませんね♡

ドキュン

モァ

モァ

ドキュン

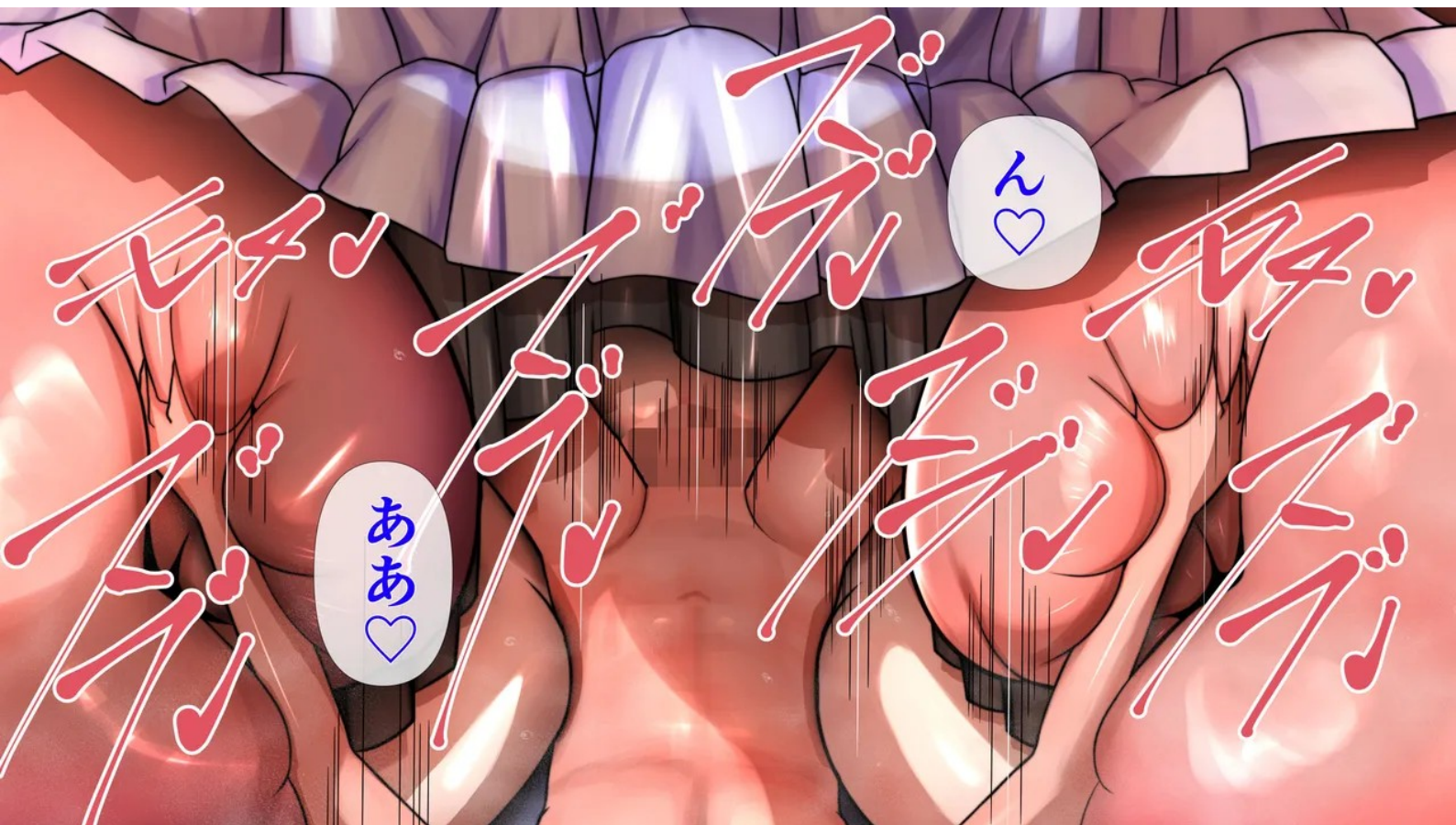
ドキュン

ドキュン

ドキュン

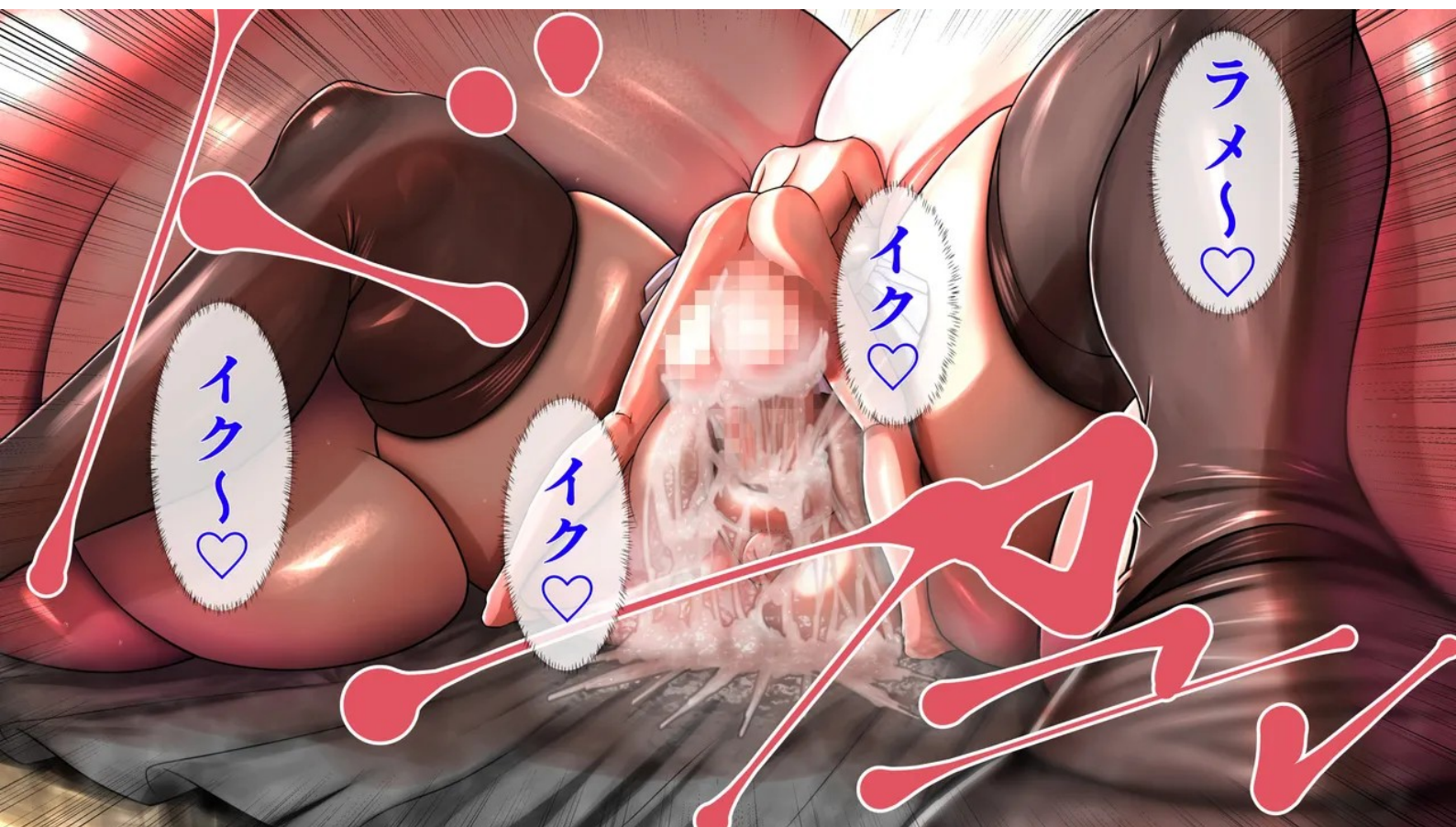
ドキュン

モァ



ああ

ん





〇〇さまの
熱い思い、
みんな私の
奥に届いて
おります♡

アハハハハ

アハハハハ

アハハハハ

アハハハハ



ふっ♡
いっばい
出ましたね♡

上手にエッチ
できて、
えらいえらい♡



それほどでもない。

もう○○○を
ったら〜♡

あらあら♡
こんなに出し
ちゃって♡
うふふ♡

そして

ミスズさん…、胸？

え？
おっばいが
どうかしま
したか？

胸が物凄く
大きく
なかった？

そう見え
たんですか？

そうだね…。

ふふふ♡
まあ細かい
ことはいい
じゃない♡
ですか♡

んん





それは、
胸の大きさが
変わることも
よりも、
得難く尊い
事です♡

大切なのは、
私と○○さまが、
仲良く、親密に
なったということ
じゃない
ですか♡

おわり





